

当院で子宮頸癌に対し重粒子線治療または根治的放射線治療を受けた皆様へ

(臨床研究に関する情報)

子宮頸癌における腫瘍組織における免疫応答と予後についての関係を明らかにするために、過去の症例を解析することになりました。

この研究は、電子カルテや生検検体より得られた記録をまとめることによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示・利用停止手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

- [研究課題名] 子宮頸癌患者の腫瘍組織における免疫応答と予後についての検討
[研究機関] 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所病院（現QST病院）
[研究期間] 研究期間（2017年11月27日～2021年3月31日）
[協力研究機関] なし
[研究責任者] 小此木 範之
[研究の目的] 重粒子線治療あるいは光子線治療を受けた子宮頸癌患者の予後と、診断目的に採取された子宮頸癌組織における免疫応答との関連について評価すること。

[研究の方法]

●対象となる方々

1995年6月から2016年3月の間に重粒子線治療あるいは光子線治療（根治的放射線治療）が行われ、診断目的に採取された組織標本（パラフィンブロック）がある、子宮頸癌の患者さん。

●利用する情報：年齢、治療概要、2017年8月までに記録されている治療後の経過、組織標本から得られる免疫反応（外部機関に一部の評価を委託することもあります）。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い] お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い取り扱います）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方、またはそのご家族は、2020年6月30日までにお申し出ください。

この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記 [問い合わせ先：窓口] にお申し出ください。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 QST病院

治療課 小此木 範之 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

